

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	----------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農業経営課長 森上 浩平	電話番号	0852-22-5392
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	農業技術センター試験研究費		
目的	(1) 対象	農業者	
	(2) 意図	新品種の開発や新技術の開発により、生産者の農業生産性向上を支援する	
事業概要	農業技術センターにおいて、農業の新技術開発、環境保全及び経営の合理化に必要な試験研究、調査、分析、種苗の保存配布などを行う。 (場所：出雲市芦渡町) 1 施設 本館棟、花振興棟、生物工学研究施設、付属舎 2 用地 施設用地 16.2ヘクタール うち試験ほ場 11.9ヘクタール (内訳：田4.2、畑2.9、樹園地等4.8)		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	終了した研究のうち目標が達成され普及ができる研究割合	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%
		取組目標値							
	式・定義	年次終了課題のうち、目標達成及び普及ができると判定された研究数	実績値	100.0	100.0				
			達成率	100.0	100.0	-	-	-	-
2	指標名	目標値							
		取組目標値							
	式・定義		実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	-

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	150,840	162,678
うち一般財源 (千円)	105,561	110,433

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

・平成28年度終了課題は、島根県農林水産技術会議により、3課題のうち一つが「普及」、二つが「目標達成」の評価を受けた(普及：課題解決型研究課題1 目標達成：重点研究課題1 基礎的研究課題1)。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

□ 終了課題は、以下のとおり具体的成果があった。

1 報告書の作成 (成果の公表)

① 有機農業に取り組みようとする生産者にとって、経営改善・発展の指針となる『有機野菜・有機水稲の経済性評価及び有利販売手法とビジネスモデル』を作成

② 新たな人材確保を目指す集落営農組織にとって、その手法の参考となる『集落営農組織の維持・強化に向けた人材確保手法に関する実態調査結果』を作成

2 技術確立

① ぶどう農家にとって、大幅な省力化等に繋がるジベレリン1回処理技術が確立された。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

① 困っている「状況」

- 水田農業や施設園芸を主体とした農家にとって、施策と結びついた技術支援は重要である。しかし、技術支援に必要な技術開発等に制約が生じており、農家が収益確保に向けた技術の取得に時間を要している。

② 困っている状況が発生している「原因」

- 平成29年度で終了する重点研究プロジェクトの後継プロジェクト(ポスト重点)が定まっていない
- 研究を支える施設の老朽化が進んでおり、特に以下の施設で早急な修繕が必要になっている。
 - ① センター用水施設の整備、改修
 - ② 花き科ハウス複合環境制御システムの改修

③ 原因を解消するための「課題」

- ポスト重点の組み立てに必要な方針等を検討できる場づくりを進める
- 老朽化の程度に応じた施設、設備等の状況を確認し、改修のための優先順位を検討する
- 活用可能な国事業や、共同研究等外部資金の検討を行う

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・ポスト重点については、行政と研究の意見交換の場を増やし、施策を進めていくために必要な試験研究の位置づけ等を議論し、ポスト重点に向けた戦略性、課題化を検討する

・予算獲得については、引き続き競争的資金などの外部資金を積極的に活用し、共同研究の取り組み強化を推進する